

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ビジョン

「情報を届けたい人」に「情報を届けることをお手伝いする」コミュニケーション創造企業へ進化

自己資本比率
70%以上

流動比率
200%以上

売上高
2,750百万円

営業利益
20百万円

2 中長期の経営戦略

1. クロスメディア展開

「紙」「電子」「デザインQR・AR」等で顧客のニーズに応じた多様な情報発信手段を提供

3. 営業体制強化

情報処理に傾斜した営業体制の構築と首都圏を中心とした新規開拓
・既存顧客深耕

2. 情報処理事業への傾斜

ビジネスフォーム業界の電子化対応のため情報処理事業の比重を高める展開に転換

4. セキュリティ強化

情報センターでの情報セキュリティ体制及び生産体制を強化し市場要求に対応

3 対処すべき課題

① ビジネスフォーム需要縮小対応

- ・ビジネスフォーム事業は売上の過半数を占めながら需要継続縮小に直面
- ・価格適正化と生産効率化の推進が必要
- ・WEB化・電子化への対応強化が課題

② 原材料価格高騰への対処

- ・原材料・資材・物流費・光熱費の価格高止まりが継続
- ・顧客への価格改定に時間を要し全額吸収は困難
- ・翌々事業年度以降の中長期計画算定が困難な状況

③ 情報処理事業の競争激化

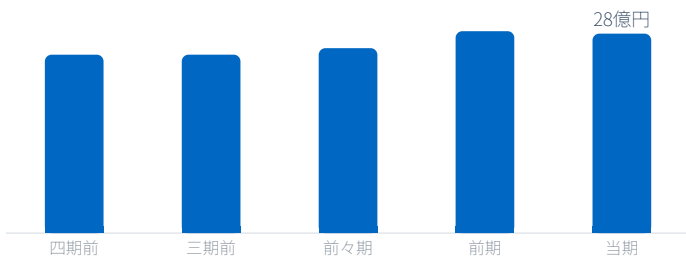
- ・通知物電子化や購買行動変化で送付量減少傾向
- ・公官庁入札条件変更による売上減少
- ・情報セキュリティ体制が競争要素として強く要求される

面接で使えるポイント

- ・ビジネスフォーム業界の電子化対応に向けて、紙・電子・QR・ARを組み合わせたクロスメディア企業への転換を目指している
- ・ISO9001・ISMS認証・プライバシーマーク運用を通じた情報セキュリティ体制の強化で市場信頼を構築
- ・首都圏への営業基盤強化と最新機械設備導入による生産効率化で、受注拡大と利益確保を両立を推進中

証券コード 7851

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
ビジネスフォーム事業と情報処理事業の2つの主力
事業を展開する企業

主力事業・セグメント

- ・その他製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

58点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 38.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収

442万円

その他製品内 98位/105社

平均年齢

43.4歳

その他製品内 39位/105社

平均勤続

12.8年

その他製品内 67位/105社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: カワセコンピュータサプライ(株)【7851】：決算情報

